オンラインツールを使いこなそう!

ラコルタの職員が講師となり、ZOOM の基本的な使い方やホ ストのやり方、円滑にオンライン会議を行うためのポイントなど をお話ししました。また、後半は会場を2つに分け、オンラインと 会場をつなぐハイブリッド形式での開催方法を体験。

長期化するコロナ禍の影響もあり、オンライン会議に『参加す る』機会は、徐々に増えてきたようですが、今回の講座を活かして いただき、ホスト役やハイブリッド形式での開催に、是非チャレ ンジしていただければと思います。 ●開催日:10月14日(木)

みんなで読んで考えてみよう!



市民の声を行政の施策に反映するひとつの方法とし て、「パブリックコメント」について身近に考えてみる 講座を開催しました。京都市の「対話型パブリックコメ ント」など全国のユニークな取り組みを学びながら、実 際に意見の募集が行われていた大阪府の「大阪パーク ビジョン(案)」と堺市の「財政危機脱却プラン(素案)」 を読み合い、意見交換をしました。1 月に開催予定の テーマカフェでも、引き続きパブリックコメントを取 り上げる予定です。 ●開催日:10月30日(土)



渋沢栄一の中心的な考えである「道徳経済合一説」 や、それに基づく社会事業家としての実践について、認 定 NPO 法人さいたま NPO センターの松本博之さん からお話を伺いました。渋沢がめざした、国内の窮民を なくす、そのためには貧困を予防する取組みが重要で あるという考えは、SDGs の理念「誰一人取り残さない 持続可能な社会」と重なります。彼の思想から「公益」と はどうあるべきかを学び、現代社会のあり方を考える 機会になりました。

渋沢栄一のめざしたもの

●開催日:11月13日(土)

どなたでもご参加ください! ラコルタの講座・イベント

12月23日(木)

コロナ禍で考えたい コミュニティの価値

孤立問題やコミュニティの効 果・効用など。(二部制)

- ●とき:19:00~21:00
- ●定員:40名(二部20名) ●締切: 12月10日必着

2022年

1月28日(金)

公益活動向けの

法人設立に必要な手続きや 流れを、詳しく説明します。

●とき:10:00~11:30 ●定員: 先着10名

2022年

1月15日(土) みんなで読んで考えてみよう パブリックコメント

募集中の案件について参 加者で意見交換します。 ●とき:14:00~16:00

●定員: 先着10名

お申込み・ お問い合わせは ラコルタまで

TEL:06-6155-3167 FAX:06-6833-9851 Fメール: info@suita-koueki.org

※費用が明示されていない イベントは無料。

※申込期限の記載がなけれ ば前日まで。

毎月開催!「ボランティア・NPO初歩講座」 12月16日(木) 13:30~15:00、2022年1月21日(金) 19:00~20:30

ステイホーム中、飲食店のテイクアウト利用などで家庭ごみの量が急に増えまし た。ならば、とこのタイミングで生活そのものを見直してみました。「使い過ぎ」はな いか、「使い捨て」を避けられないか、試行錯誤しながらごみの削減に挑戦していま す。いつかコロナ禍が終息しても、続けていきたい「新しい生活様式」です。 (入江) 〈発行責任者〉 柳瀨真佐子 編集スタッフ>

茨木由美・入江陽子・春貴勇力 森戸秀次・山本泰秀

検索 https://suita-koueki.org アクセス 阪急電車千里線「南千里駅」改札出て左、千里ニュータウンブラザ6階

VOL.37

出会う→集う→育てる→実る

吹田市立 市民公益活動センター

Newsletter 2021年12月1日号

○表紙: 「Be Social | 第22回・小松 紫穂里さん

〇中面:特集/

○うら:ラコルタの取り組み、イベント

「市民公益活動」は市民が自発的に行う社会貢献活動です。 市民公益活動センター(愛称:ラコルタ)は市民の力で 吹田市をより良いまちにするため、これらの活動を支援しています。



Newsletter

Vol.37

ラコルタ | 吹田市立市民公益活動センTEL 06-6155-3167 FAX 06-6833-9

〒565-0862 吹田市津雲 聽台1丁目2番1号 ueki.org

/プラザ6階 指定管理者 NPO 法人

市民ネットすいた

ですが、保護者や先生といった立ました。まだ活動を始めたばかり 育のサポー 学校も行政もICT の導入が進んでい により、にわかにオンライ ティア活動として、 はないので、 していました。そんな中、 吹田でも活動できる トができ 保護者によるボラン より良い教育環境を ったのですが ないかと考え オンライン教 0) 場所を探 専門家で 、コロナ禍 ・ン教育

きるのだと実感しまし らしやすいまちに変えることがで 付いていたのです。 人や活動を通じて、 吹田での活動

で創ろう」という精神が地域に根 ろなのですが「なければ自分たち そこで出会った 市民の力で暮

市は小さい う人が集まってい ・まちで、 何もないとこ 5した。流山

そこは、 D 地域活動 、自分のスキルな地域活動の拠点

なっており、

人や、

まちを良く

しようと

を活った

かも

仕事をし 目を向けるようになりました。当 遠出できないこともあ 関心があったのです 学生時代は日 千葉県流山市に住んでいた ながら、 スに通うた ランスでウェブの 近所にあっ 、出産後はど、海外に 地域に

私たちが暮らす 地域や社会の事を

他人事ではなく自分事にする。

魅力をお伝えします。

第22回小松紫穗里さん

Next Education for Suita(NES)

3年前に吹田市へ転入。4人の娘

を育てながら、リモートワーク

社員として勤務。2020年に北摂

地域の保護者が集まりNESを

発足。より良い教育のあり方を

https://www.facebook.com/

next. education. for. suita/

出産を機に

探る勉強会等を開催している。

こまつ しほり

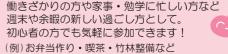


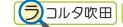


興味がある方、活動はしているが もっと理解を深めたい方など。 「出前講座」も承ります。お気軽に! ●毎月開催!●定員10名

やってみたい! の声に お応えします!

働きざかりの方や家事・勉学に忙しい方など 週末や余暇の新しい過ごし方として。 初心者の方でも気軽に参加できます!







地域活動における デジタル化の可能性

地域コミュニティの中心となる自治会ですが、年々加入率が下 がっており、多くの自治会が担い手不足や自治会離れといった課題 を抱えています。

一方、コロナ禍により対面の活動が制限される中で、ICT(情報通 信技術)を活用した事例が増えつつあります。

そこで、吹田市内の単一自治会にご協力いただき「自治会活動に おけるコロナ禍の影響とICTの活用実態調査」を実施しました。

調査によると、コロナ禍の影響について「影響があり、現在も続 いている」と回答した団体が88.8%と最も多く、特に行事や会議の 中止を余儀なくされたという実態が見えてきました。

また、ICTを利用することが難しい方がおられるなど、デジタル 化が進まない要因も明確になりました。

本号では、調査結果の速報と共に、他市の先進的な事例をご紹介 することで、地域活動におけるデジタル化の可能性を探ります。



吹田市内における自治会活動の ■ ICT(情報通信技術)活用実態について

調査 概要

自治会活動におけるコロナ禍の影響とICTの活用実態調査

対 象:吹田市内の単一自治会 全557団体

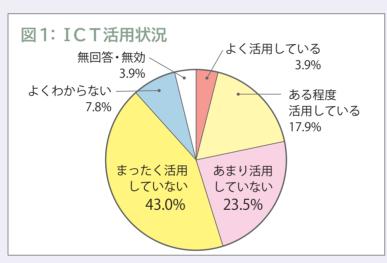
時 期:2021年8月~9月 回収数: 358通(回収率: 64.3%) ※調査結果の一部を抜粋 しています。報告書をご覧 になりたい方は、ラコルタ へお問い合わせください。

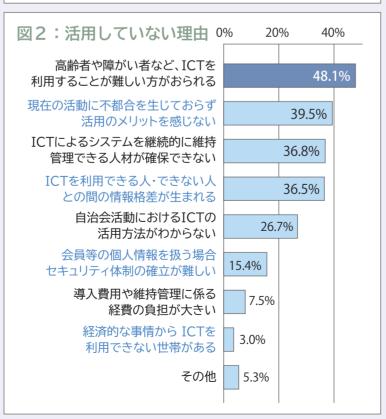
はじめに、各単一自治会でのICT活用状況を 見ると「よく活用している」「ある程度活用して いるという回答を合わせて、全体の約2割の団 体が、ICTを活用していることがわかりました (図1参照)。

活用例の多くは、メールやLINEなどを活用 し、会議や行事の連絡を行っているというもの でした。中には、WEB会議を取り入れたり、電子 決済で会費を徴収している団体もありました。

一方で、約8割の団体がICTを活用していま せんでした。活用していない理由としては「高 齢者や障がい者など、ICTを利用することが難 しい方がおられる」という回答が一番多い結果 となっています(図2参照)。自由記述の回答欄 にも、高齢であるため活用が難しいといった意 見が多く寄せられていました。

活用していない理由として「現在の活動に不 都合を生じておらず活用のメリットを感じな いという回答も多い結果となりましたが、今 後の活用について尋ねた質問では「どちらかと 言えば活用した方が良い」「活用した方が良い」 という回答を合わせて、49.5%の団体がICT活 用に対して前向きな姿勢が見られました。





が期待されますが、ICTの特性を上手く活かすことで、自治会の価値を高め、加入促進にも繋げていけそうです。 大阪市

大正区

S

S

地

域

情

報

を

タ

事例①

町会をはじめ、地域諸団体で構成された泉 尾東地域まちづくり実行委員会では、コロナ 禍により活動が停滞していました。しかし、地 域の活動拠点であった泉尾東福祉会館の建て 替えが行われていたこともあり、工事の進捗 状況を発信したいという思いから、SNSを開 設しました。

開設に向けては、地域活動の支援を行う大 正区まちづくりセンターに依頼し、SNS勉強 会を実施しました。開設後も、わからないこと があるとその都度センターにアドバイスをも らいながら運用しています。

会館完成時、引っ越しの手伝いを呼びかけ たところ、SNSの案内を見て手伝いに来てく れた人もいたそうです。その後も、ちょっとし た地域の情報をタイムリーに発信できるメ ディアとして役立てています。

例年取り組んでいた行事がコロナ禍で中止 となりましたが、その分の時間をSNSの運用 に費やすことができました。現在は、防災や地 域の魅力を伝えるYouTubeチャンネルも準 備中です。

茨城県 常総市

下記で紹介する事例は、地域活動の様子を広く発信することで、活動に対する関心を高める事例①と、災害時に会員への緊急連絡

にICTを活用した事例②です。デジタル化が進むことで、業務の効率化や負担軽減、コミュニケーション手段の多様化といった効果

事例②

S

M

S

防

減

12

貢

献

対して行事の案内や地域の情報を一斉送信し ています。鬼怒川が氾濫し甚大な被害を及ぼし た「関東・東北豪雨災害(2015年)」では、励まし の言葉なども添えながら、水害の状況や避難所 情報などを送信し、減災に貢献しました。 送信は1通あたり15円の費用が発生します

根新田町内会は、2014年からSMSによる連

絡手段を取り入れており、約100世帯の住民に

が、電話などで緊急連絡を行っていた頃に比べ ると、迅速かつ簡略化した手段となっています。 SMSの一斉送信を行うには、一斉送信のサー

ビスを提供している会社と契約しなければなり ません。本来は事業者向けに提供されている サービスのため、固定費などの負担が大きくか かります。しかし、導入にあたって各社へ問い合 わせをする中で、㈱Post-Onは「社会の役に立 つなら という思いで、送信件数に応じた料金の みを支払うプランを考案してくれました。

携帯電話があれば受信することができるた め、若年者から高齢者まで対応できる連絡手段 として、全国からも注目されています。

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) と SMS (ショートメッセージサービス) 何が違うの u---

SNSは、Facebook、Twitter、LINE、Instagramな ど、登録した利用者同士が交流できるサービスです。イ ンターネットの接続環境があれば、パソコン、スマート フォンなどから利用できます。無料で利用できることか ら、活動に取り入れやすく、会員以外の住民など不特定 の人へ情報発信することが可能です。

SMSは、携帯電話の番号のみで文字を送受信できる サービスです。受信料は無料ですが、送信者には料金が 発生します。携帯電話があればすぐに利用できることか ら、SNSに比べて利用できる年齢層が幅広くなります。 送信先の電話番号を把握する必要があるため、会員など 特定の人へ情報発信する場合に効果的です。